

趙 家林ゼミナール【経済-6 クラス】

【題目】バリュエーションとビジネス分析入門

【到達目標】バリュエーションの基礎知識を学ぶこと。

【講義内容】経済活動を支える基盤は、いうまでもなく企業が行うビジネスである。健全なビジネス活動は企業活力の源泉であり、ビジネスの将来の姿を予想することは、顧客、従業員、取引先、債権者、投資家などの利害関係者にとって重大な意味を持つ。しかし、「企業は生き物だ」と言われるように、その将来の姿を予想することは決して簡単なことではない。

本ゼミは、Graham・Dodd から Buffett までの『Value Investing』流派のアプローチに従って、企業が行う事業を評価し、ビジネス分析を試みる。

【授業計画】

- 第 1 回 概説、評価の基本
- 第 2 回 企業の経営と財務状況
- 第 3 回 ファンダメンタルの要素、その一
- 第 4 回 ファンダメンタルの要素、その二
- 第 5 回 ファンダメンタルの要素、その三
- 第 6 回 ファンダメンタルの要素、その四
- 第 7 回 市場価格と内在価値
- 第 8 回 効率的市場論、価格は正しいか
- 第 9 回 間違った価格、ケース分析
- 第 10 回 情報を織り込むことの意味
- 第 11 回 トレンドと試行錯誤
- 第 12 回 バブル
- 第 13 回 行動経済学の知見
- 第 14 回 まとめ
- 第 15 回 まとめ

【身に付くように意識している汎用的能力】

知的な好奇心	○
本質を理解する力	◎

【教科書】ゼミ生と相談する上、決定する。

【参考文献】適時に指示する。

【評価方法】ゼミでの報告、討論への参加、ゼミへの貢献度合などを総合的に評価。

【履修の条件】なし

【聴講生・科目等履修生受入】否

【他学科生・他専攻生受入】可

【他学部生受入】否

【当該科目に関連する開設科目】金融、ファイナンス、企業財務、簿記、会計関係

【使用言語】日本語

【担当者からの一言】適時にインタビューや企業を紹介するビデオを見せる。